

令和6年6月4日/6月10日 福祉教育ボランティア 養成研修会



01

講義

「生きづらさを抱える子どもたちと向き合う
～障害があってもなくても苦しい子どもたち～」

一般社団法人コットンママ
渡邊 美代子氏

1. 子どもたちのまわりで何が起きているのか（事例紹介）
2. 子どもたちの生きづらさは親のいきづらさから
3. 私たちが理解しなければならないこと
4. 相談しましょう、連携しましょう、協働しましょう
5. 障害の種類を知る以上に大切なこと
6. 生きづらさを抱えたままの子どもたちはどうなるのか
7. 子どもたちの幸福感を高めていくために（活動紹介）

感想

- ・現代の若者の現状、困難、支援の大切さを知る良い機会となりました。
- ・たくさんの事例をありがとうございました。子どもを守るために子どもたちに声をかける大人が増えるといいなというのが心に残りました。
- ・家庭のシャワーの大切さ、差別しない自分を振り返る時間でした。今の子どもたちは大変なんだと思う事しばしばあり、先生の講義を受けて近所の子どもたちとのふれあいを大事にしていきたい。

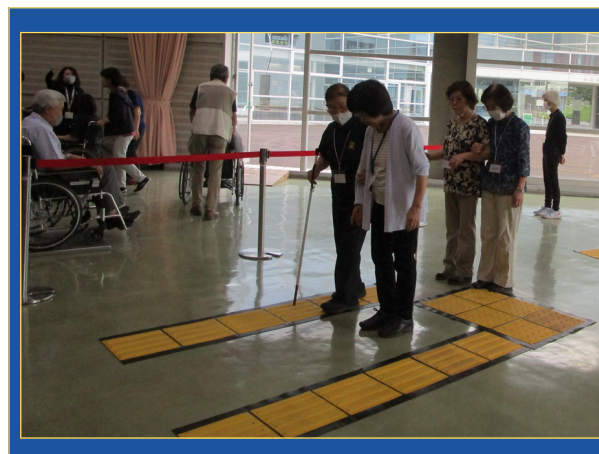
02

講義・演習 車いす体験・高齢者疑似体験 視覚障がい者体験

成田国際福祉専門学校講師
山澤 恭子氏

感想

- ・視覚障がい者の方の日常生活を多く知ることができました。
- ・小中学生への体験学習実施前に気をつけるポイントを学べたこと、実際に機器を使用できイメージしやすかった。
- ・知識が身につく研修だったので、講師補助や子どもたちへの指導・見守りができました。
- ・疑似体験を初めて体験し、高齢者や障がいのある方の身体への負荷や動きづらさを知ることができた。ここまで動きづらいとは思わなかった。



03

福祉体験学習の目的 主な体験プログラムの紹介 ボランティアの役割 児童・生徒との関わり方について

本研修は、木更津市内の小・中学校で実施している「福祉体験学習」のサポート活動をするために必要な知識を深め、技能の向上を図るために毎年開催しています。

今年度の参加者は70名でした。民生委員、学校支援ボランティア、ボランティア団体、個人ボランティア、福祉教育に関心のある方など多くの方々にご参加いただきました。

